

2018年3月26日

報道関係各位

認定特定非営利活動法人 地域精神保健福祉機構・コンボ  
日本イーライリリー株式会社  
EL18-12

## 「第14回精神障害者自立支援活動賞(リリー賞)」 「当事者部門」「支援者部門」で、2名2団体を表彰 ～当事者による地道な取り組みや、交流しながら自立をサポートする活動を表彰～

認定特定非営利活動法人 地域精神保健福祉機構・コンボ(事務局:千葉県市川市、以下「コンボ」)は、2018年3月23日(金)、東京国際フォーラム(東京都)にて、「第14回精神障害者自立支援活動賞(通称:リリー賞)ーひとりひとりの輝くあしたへー」の表彰式を開催し、「当事者部門」と「支援者部門」の2部門あわせて2名2団体の受賞者に対し、盾と副賞を授与いたしました。

【受賞者、プレゼンターの柳家花緑さん、選考委員、協賛社による記念撮影】



### 「第14回精神障害者自立支援活動賞(リリー賞)」受賞者

＜当事者部門＞ 副賞 100万円

**滋賀県 曾根 博(そね ひろし)さん**

統合失調症の経験をもとにNPO法人や事業所の開設に尽力、当事者と家族を支える活動を40年間継続  
当事者と家族の立場で、地域の精神保健福祉向上を目指し、道なき道を進んできた継続性が評価されました。

**大阪府 塚本 正治(つかもと まさじ)さん**

シンガーソングライターや当事者支援の相談員として、20年以上にわたり精神障害への理解促進に向け活動  
地域での交流を深めながら、音楽や詩を通じた独自の方法で啓発活動を推進してきた点が評価されました。

＜支援者部門＞ 副賞 50万円

**高知県 社会福祉法人さんかく広場 就労障がい者交流拠点事業「りんく・じょい」**

働く精神障害者の相談先の役割を担い、企業や地域住民も参加する交流会を通じて地域定着・就労継続を支援  
当事者、地域、企業が「楽しむこと」でつながる仕組みで、当事者の就労を支援する独自性が評価されました。

**東京都 みんなで同じ風にあたろう(愛称:みんな風)**

月1回のランニング練習会がもたらす「安心できる居場所」と「ゆるやかなリハビリ」

走ることがコミュニケーションの場にもなり、体と心の両面から当事者を支える独自性が評価されました。

■リリー賞に関するお問合せ:

認定 NPO 法人地域精神保健福祉機構(コンボ)・リリー賞事務局  
TEL:047-320-3870/FAX:047-320-3871

■受賞者へのご取材に関するお問合せ:

広報代理店 ㈱トークス  
TEL:03-3261-7715/FAX:03-3261-7174 担当:松木、佐野

## 第14回精神障害者自立支援活動賞(リリー賞) 受賞者プロフィールおよび受賞理由

### 【当事者部門】曾根 博(そね ひろし)さん〈滋賀県高島市〉

1961年に16歳で統合失調症を発症し、17年間入退院を繰り返す。1978年に33歳で最終退院した後は結婚し、同じ統合失調症の姉を支えるとともに、患者家族会の運営、家族会のネットワークづくり、NPO法人の立ち上げと就労継続支援B型事業所の開設、教育機関における啓発活動、行政への働きかけなど、地元滋賀において幅広い活動を継続してきた。当事者としての経験を患者家族の支援にも生かし、地域の精神保健福祉向上を目指して道なき道を40年間進み続けてきた点が高く評価された。



### 【当事者部門】塚本 正治(つかもと まさじ)さん〈大阪府大阪市〉

26歳でうつ病を発症。1993年、32歳の時に大阪精神障害者連絡会の設立に携わり、1999年からは精神障害者地域生活支援センターの常勤職員として電話相談や面談相談にあっている。並行して音楽活動にも情熱を注ぎ、シンガーソングライターとしてこれまでに10枚のCDをリリース。ライブ活動に加え、障害者団体への応援歌の制作・贈呈、地元商店街への楽曲の提供、小・中学校での講演など地域での交流を深め、2013年には詩作も開始。当事者支援の仕事を地道に続けながら、音楽や詩を通じた独自の方法で啓発活動を推進してきた点が高く評価された。



### 【支援者部門】

#### 社会福祉法人さんかく広場 就労障がい者交流拠点事業「りんく・じよい」〈高知県高知市〉

「りんく・じよい」は、精神障害者の自立支援に取り組む社会福祉法人が、高知県からの委託を受け2015年に開始した事業。働く精神障害者に「愚痴をこぼせる」場や夕食の場、ファッション・メイクアップをはじめ様々な「生活を楽しむ技術」を習得する場を提供している。活動の企画や運営にあたるのは、地域の人や当事者も含めた「りんく・じよい助っ人会」。当事者、地域住民、企業が「楽しむこと」でつながる仕組みをつくり、生活の面から精神障害者の就労を支援する独自性が高く評価された。



#### 【支援者部門】みんなで同じ風にあたろう(愛称:みん風)〈東京都〉

うつ病などの精神障害を持つ人と、医師、スタッフがともに走るプロジェクト。ニュースキャスターの安藤優子氏が、体を動かすことで不安が和らいたという自身の経験から、医師などの協力を得て2012年に活動を開始。身体機能の改善を目指すランニング練習会が、コミュニケーションの場にもなっており、精神障害を持つ人の社会参加を、体と心の両面から緩やかにサポートする独自性が高く評価された。



## <「第14回精神障害者自立支援活動賞(リリー賞)」応募・選考 について>

「リリー賞」は、精神障害者の社会参加や地域社会での自立を促す活動を行っている当事者・当事者団体を表彰する賞として、2004年に設立されました。第9回より「当事者部門」に加えて「支援者部門」を設立し、医療、福祉だけでなく、地域コミュニティ、教育など、さまざまな分野・立場で、精神障害者の社会参加・自立を支援する個人やグループ・団体を対象としています。

- 主催 認定 NPO 法人地域精神保健福祉機構 (コンボ)
- 協賛 日本イーライリリー株式会社
- 募集期間 2017年9月1日～12月31日
- 応募件数 当事者部門 56件 / 支援者部門 36件
- 選考 「当事者部門」については①当事者を主体とした取り組みであること、②独自性、③社会・医療・保健福祉へのインパクト、「支援者部門」については①独自性、②社会・医療・保健福祉へのインパクト、③将来性の3点をそれぞれ主な選考基準として、以下9名の選考委員により2018年1月28日(日)に行われました。

### 【選考委員】(敬称略)

- 高橋 清久 (公益財団法人精神・神経科学振興財団理事長)
- 佐藤 光源 (東北大学名誉教授・医療法人恵風会高岡病院特別顧問)
- 中村 純 (産業医科大学名誉教授/社会医療法人北九州病院北九州古賀病院院長)
- 寺谷 隆子 (社会福祉法人 JHC 板橋会理事長/山梨県立大学人間福祉学部特任教授)
- 元村 祐子 (第13回リリー賞受賞者)
- 藤野 英明 (コンボ理事/横須賀市議会議員)
- 大島 巖 (コンボ代表理事/日本社会事業大学)
- 伊藤 順一郎 (コンボ共同代表/メンタルヘルス診療所しっぽふあーれ)
- 宇田川 健 (コンボ共同代表)

「コンボ」では、困難な状況を乗り越え活動している当事者・当事者団体、支援者・支援者団体を表彰する本賞を通じて、より多くの方々が統合失調症をはじめとする精神疾患に対する正しい理解を深め、そして、当事者にとってより良い環境整備及び充実の一助となるよう活動してまいります。

協賛の日本イーライリリー株式会社は、革新的な医薬品の開発・提供に加え、患者さん・ご家族への情報提供や支援、精神疾患の一般への理解促進などを通じ、患者さんのリカバリーへの貢献をめざします。

### **認定 NPO 法人地域精神保健福祉機構・コンボ (Community Mental Health & Welfare Bonding Organization) について**

「精神障害をもつ人たちが主体的に生きて行くことができる社会の仕組みづくり」を目的とし、2007年2月に設立した NPO 法人です。「当事者の視点」を活動の重点に据え、当事者、家族および専門職を対象とした情報提供や、ACT・家族心理教育・就労支援など科学的根拠にもとづくプログラムの実践および普及活動、そして、地域精神保健福祉の発展に資する活動などを主に行っています。

### **日本イーライリリーについて**

日本イーライリリー株式会社は、米国イーライリリー・アンド・カンパニーの日本法人です。人々がより長く、より健康で、充実した生活を実現できるよう、革新的な医薬品の開発・製造・輸入・販売を通じ、がん、糖尿病、筋骨格系疾患、中枢神経系疾患、自己免疫疾患、成長障害、疼痛、などの領域で日本の医療に貢献しています。詳細はウェブサイトをご覧ください。 <http://www.lilly.co.jp>